

「八幡市子ども会議」だより

発行：八幡市教育委員会 平成 31 年 1 月

「八幡市子ども会議」とは

「八幡市子ども会議」は、「八幡市の未来を担う子どもたちが、あらゆる人に対する思いやりや、いたわりの心、生きることの尊さについて考え、人々が生涯を通じて等しく、充実した生活ができる社会をめざして、自分の意見を表明し、子どもの立場から議論・提言をすること」を目的とし、平成 16 年度から継続し 15 年目を迎えた取組です。

本年度は、市内小・中学校と京都府立京都八幡高等学校の児童・生徒 32 名の委員が、昨年 6 月から本年 1 月まで、八幡市をよりよくすることを目指し、自分たちで決めたテーマについて、話し合いや施設の見学、さらには実習活動等の調査研究活動を行い、市長への提言にまとめてきました。また、活動を進めるに当たり、立命館大学政策科学部 稲葉光行教授に御指導いただくとともに、稲葉ゼミの大学生にも活動のサポートをしていただきました。

「平成 30 年度 八幡市子ども会議 ー市長への提言ー」

平成 30 年 12 月 22 日に八幡市立福祉会館 3 階にて、「八幡市子ども会議 ー市長への提言ー」を行いました。各班の主な提言内容を紹介いたします。

小学生 A 班

「オリジナル松花堂弁当」

八幡市の名産を知るきっかけがあれば、もっと八幡市のことが好きになってもらえると考えました。八幡市の特産を一度に様々な人に知ってもらうために、オリジナル松花堂弁当を作るイベントを開催し、SNS でイベントの様子やレシピを載せることを提言しました。



中学生 C 班

「YAWA 茶～ういろいろの風に乗せて～」

八幡がお茶の名産地であることを地域や、周辺の人たちに広めるために、京都の政策である「お茶の京都」に関連させ、茶葉を使ったういろいろで PR したいと考えました。そのために、ういろいろ作りイベントを開催して PR することを提言しました。



小学生 B 班

「子どもから始まる防災大作戦」

市民の防災意識の向上は重要です。そのために子どもから情報を発信し、防災についての知識を広めていくことを考えました。保護者や地域の方に広げていくために、私たちの作成した動画やポスターを市のイベントや学校だよりなどで情報提供することを提言しました。



高校生 D 班

「やわたんピック～国際交流と世代交流～」

現在日本では外国人労働者の問題が話題となっています。八幡市で異文化交流を積極的に取り入れ、外国の方への理解が深まるよう、外国の方や異世代の方との交流ができるスポーツ大会を開催することを提言しました。



講評 立命館大学政策科学部 教授 稲葉光行 先生

15 年間の子どもの会議に携わってきましたが、年を重ねるごとに、提言の内容や発表の方法が工夫されており、レベルが上がっていることに感心しました。本日の提言を聞いて思ったことを 2 点お話しします。

1 点目として、子どもの会議では、何の問題に取り組めばよいのか、それをどう解決すればよいのか分からない状態から始まりますが、大学生でも難しいこのような課題に対して、子どもたちがするどい視点で地域の問題を見つけ、解決策を導き出していることに圧倒されました。

2 点目として、他の街では大人がおこなっているまちづくりのアイデア作り子どもたちが取り組み、最後は市長さんにもほめていただけるような、また大人でも驚くような素晴らしいアイデアを数多く出していることに、大変感心しました。

八幡市子ども会議は先進的な取組であり、八幡の新しい文化として、今後さらに素晴らしいものとなることを願っています。



「八幡市子ども会議」を終えて

今年度最後となる「子どもの会議」を 1 月に開催し、活動の振り返りを行い、無事終了しました。

子どもの会議委員からは、「今まで知らなかった八幡市の魅力を知ることができた」「活動を楽しみながら人と人とのつながりをつくることができた」などの感想が聞かれ、活動が充実していたことが分かりました。

来年度も「八幡市子ども会議」を開催する計画をしており、新たな視点からの提言に取り組みます。